

一般用医薬品等の取扱いに係る調査報告書

一般社団法人 日本保険薬局協会
薬局機能創造委員会

2025年10月

調査概要

- 目的：一般用医薬品及び要指導医薬品の取扱いや、相談応需・受診勧奨等の実態把握のため
- 内容：全15問 / 選択式回答方式 / 回答所要時間約15分
 - ①薬局の基本情報及び体制について
 - ②一般用医薬品及び要指導医薬品の取扱い及び販売について
 - ③セルフメディケーションに係る相談応需や受診勧奨について（別途公表済み）
- 対象：保険調剤業務を取り扱う薬局として1年以上、運営している薬局の管理薬剤師 1薬局 1回答
- 方法：オンラインWEB調査 1薬局 1回答
- 回答期間：2025年8月14日（木）～2025年9月17日（水）
- 回答数：3,380薬局
- 実施主体：一般社団法人日本保険薬局協会 薬局機能創造委員会
- 倫理審査：北海道医薬総合研究所倫理委員会 整理番号2025054

調査結果 Summary

近年、国民のセルフメディケーションへの関心が高まり、地域における健康サポートの拠点として保険薬局・薬剤師に求められる役割はますます重要となっている。こうした背景を踏まえ、本調査では、薬局・薬剤師によるセルフメディケーション支援の実態を定量・定性の両面から把握することを目的とした。

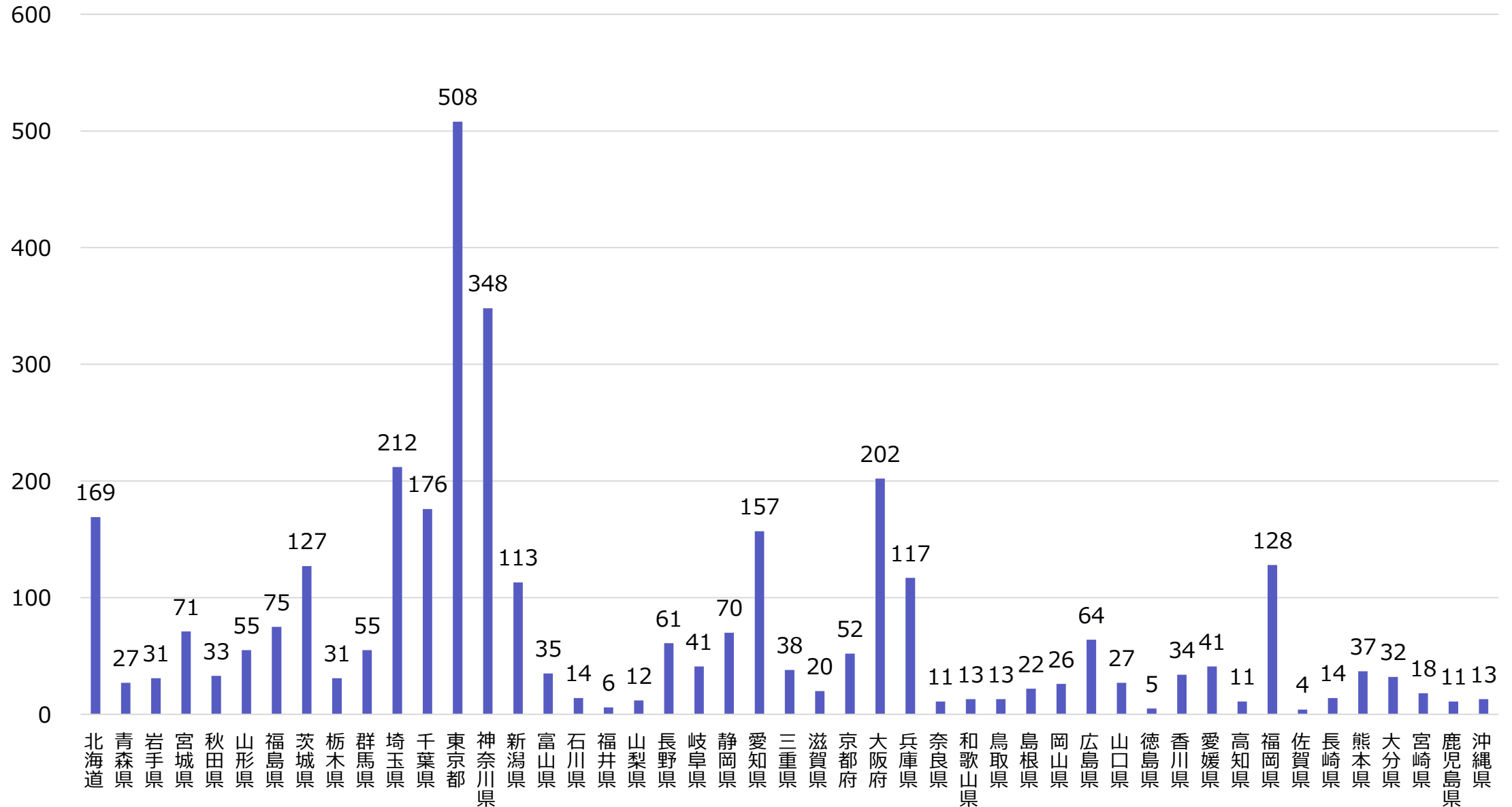
調査の結果、保険薬局における一般用医薬品及び要指導医薬品の現在の平均取扱品目数は73.9品目であった。その一方で、1年以上販売実績のない、いわゆるデッドストック品目が平均22.1品目にのぼる実態も明らかとなり、特に、地域支援体制加算を届出している薬局においてデッドストック品目数は多い傾向がみられた。また、処方せん受付回数が少ない薬局では取扱品目数も少ない傾向にあり、狭小な薬局における陳列・備蓄スペースの課題も推察された。

さらに、地域支援体制加算の届出薬局等に求められる「基本的な48薬効群」に焦点を当てると、薬効群によって販売実績に大きな差がある実態が浮き彫りとなった。2025年7月の1ヵ月間で販売実績があった割合が30%を超えたのは、加算届出薬局全体ではわずか3カテゴリーに留まった。これはドラッグストア併設薬局においても同様であり、半数以上の分類においてニーズが乏しい実態が見えたといえる。

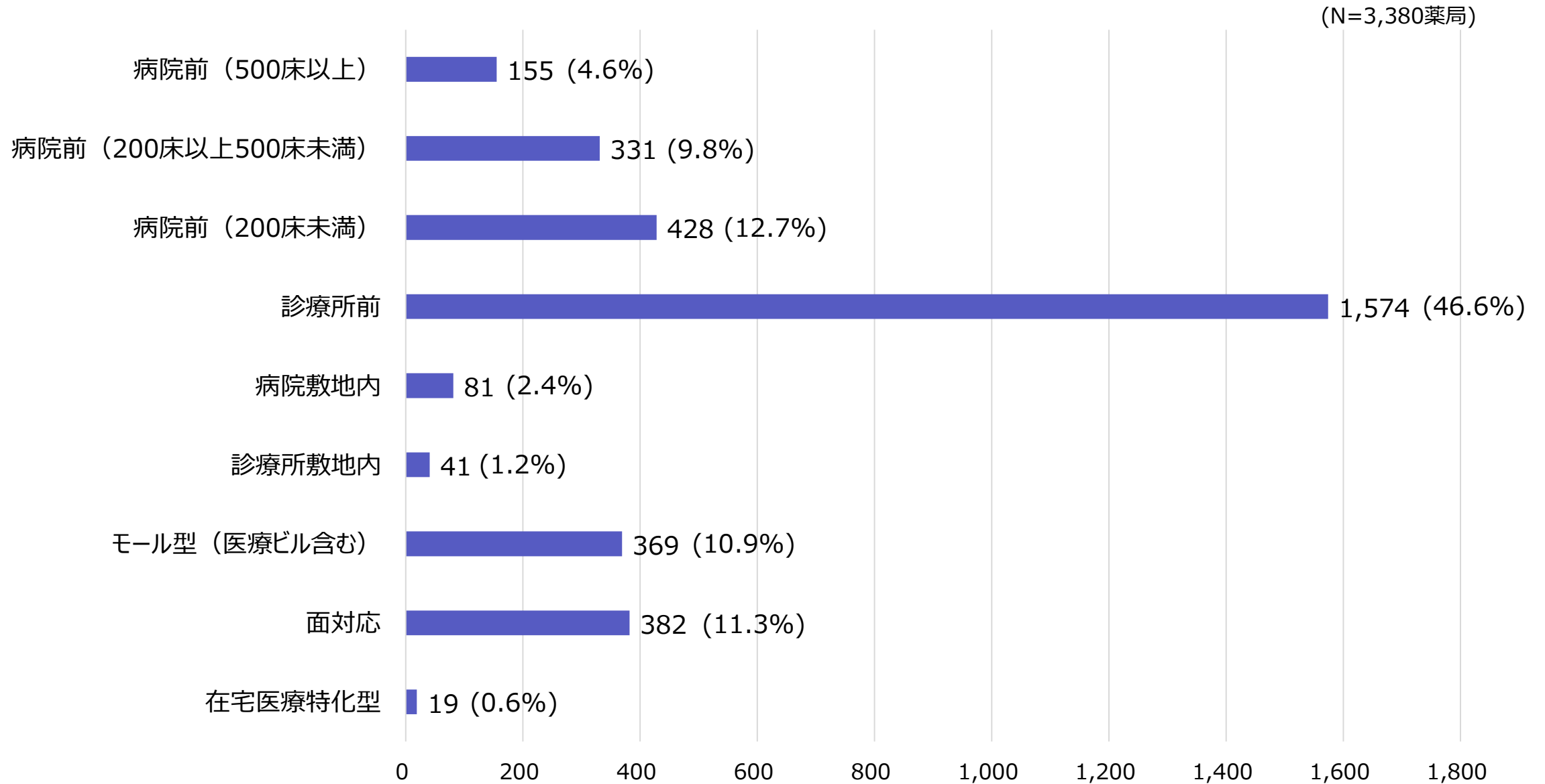
今回の調査結果は、多くの薬局が販売実態と乖離した在庫を抱える現状を明確に示した。患者や顧客の求めに応じて、たとえ備蓄していない医薬品であっても受注販売や他薬局・店舗販売業の紹介等を通じて速やかな入手方法を提案することは、薬局の重要な責務である。この責務を前提としたうえで、実効性の乏しい「48薬効群の一律備蓄」から、「地域医療のニーズや、薬剤師の専門的な知見に基づき推奨する品目を備蓄する」という、より柔軟で実効性の高い仕組みへの転換が必要である。当協会は、本報告書を通じて、関係各所と連携し、制度提言と実効的な支援の実現に取り組んでいく。

回答薬局数の都道府県分布

(N=3,380薬局)



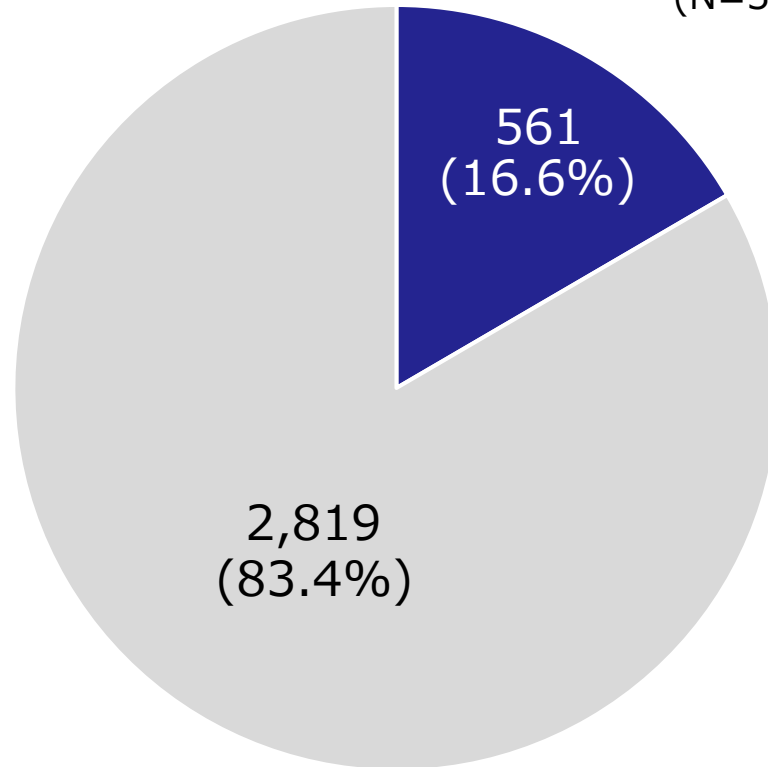
立地形態



営業形態

問. 保険薬局開設と同一法人もしくは同一グループによりドラッグストア等の店舗販売業を併設されていますか？

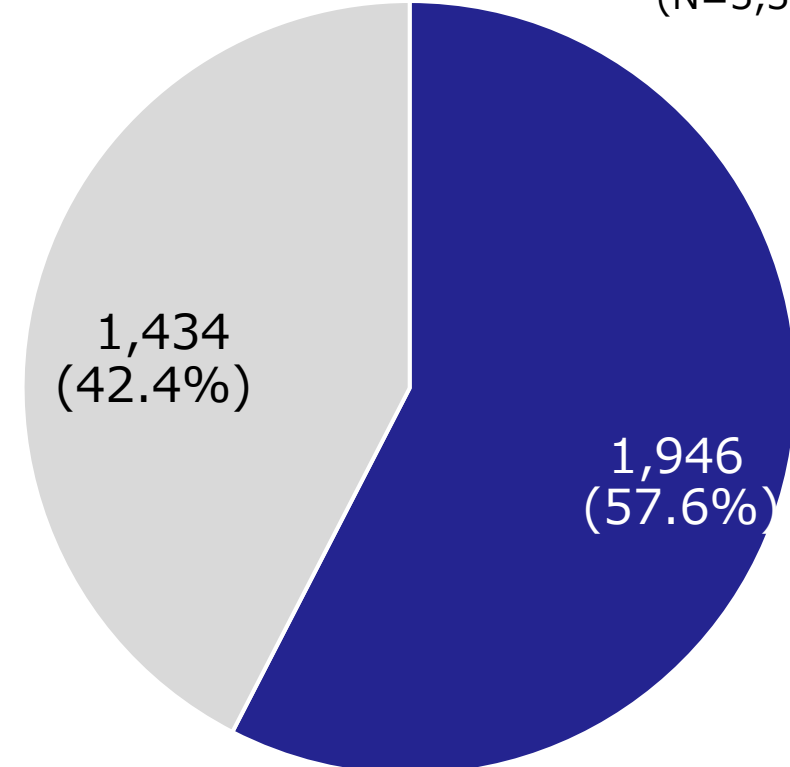
(N=3,380薬局)



■ ドラッグストア等の店舗販売業の併設あり ■ 併設なし

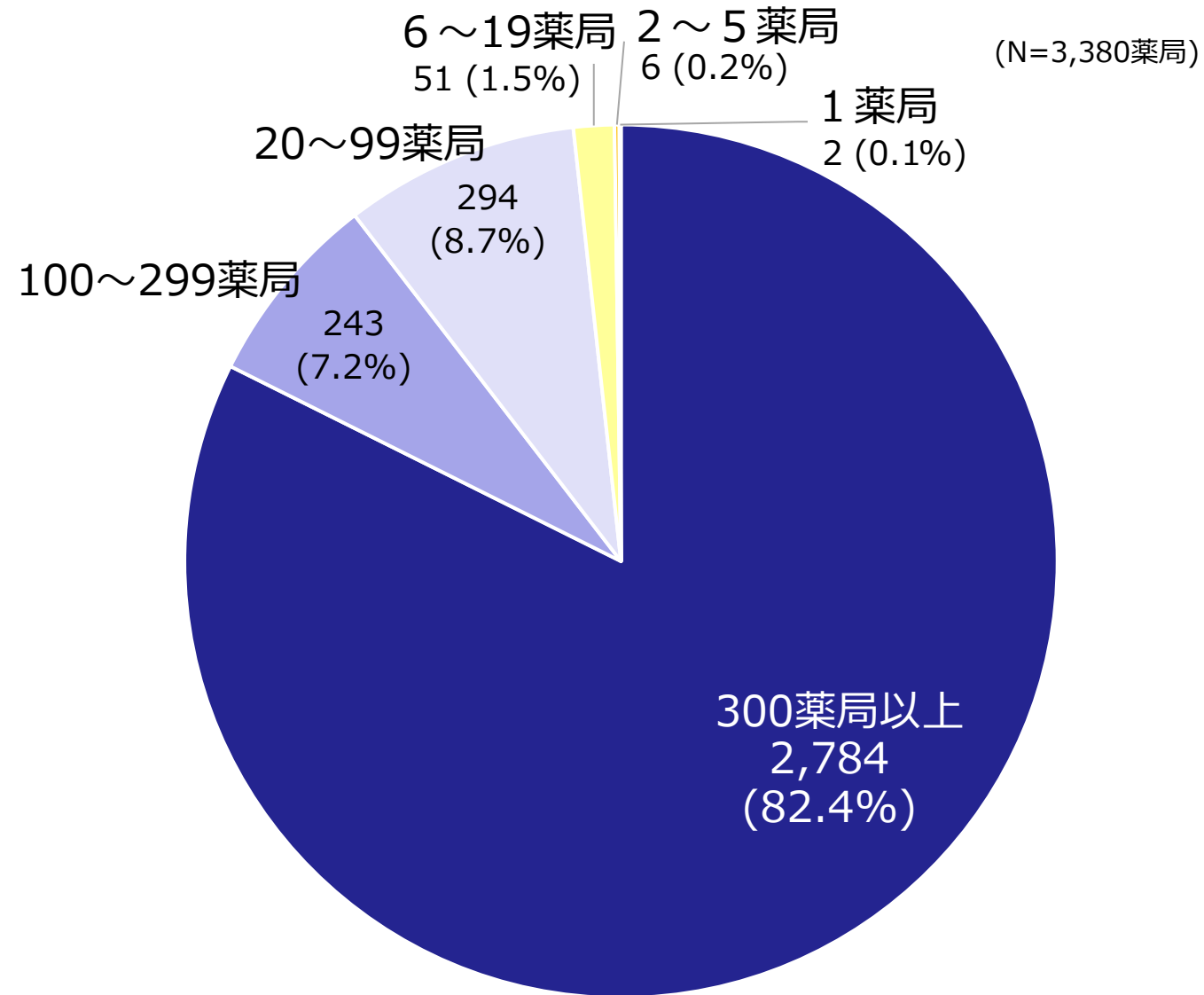
問. 近隣に、日頃から患者に紹介するドラッグストア等の店舗販売業をメインとするお店はありますか？

(N=3,380薬局)

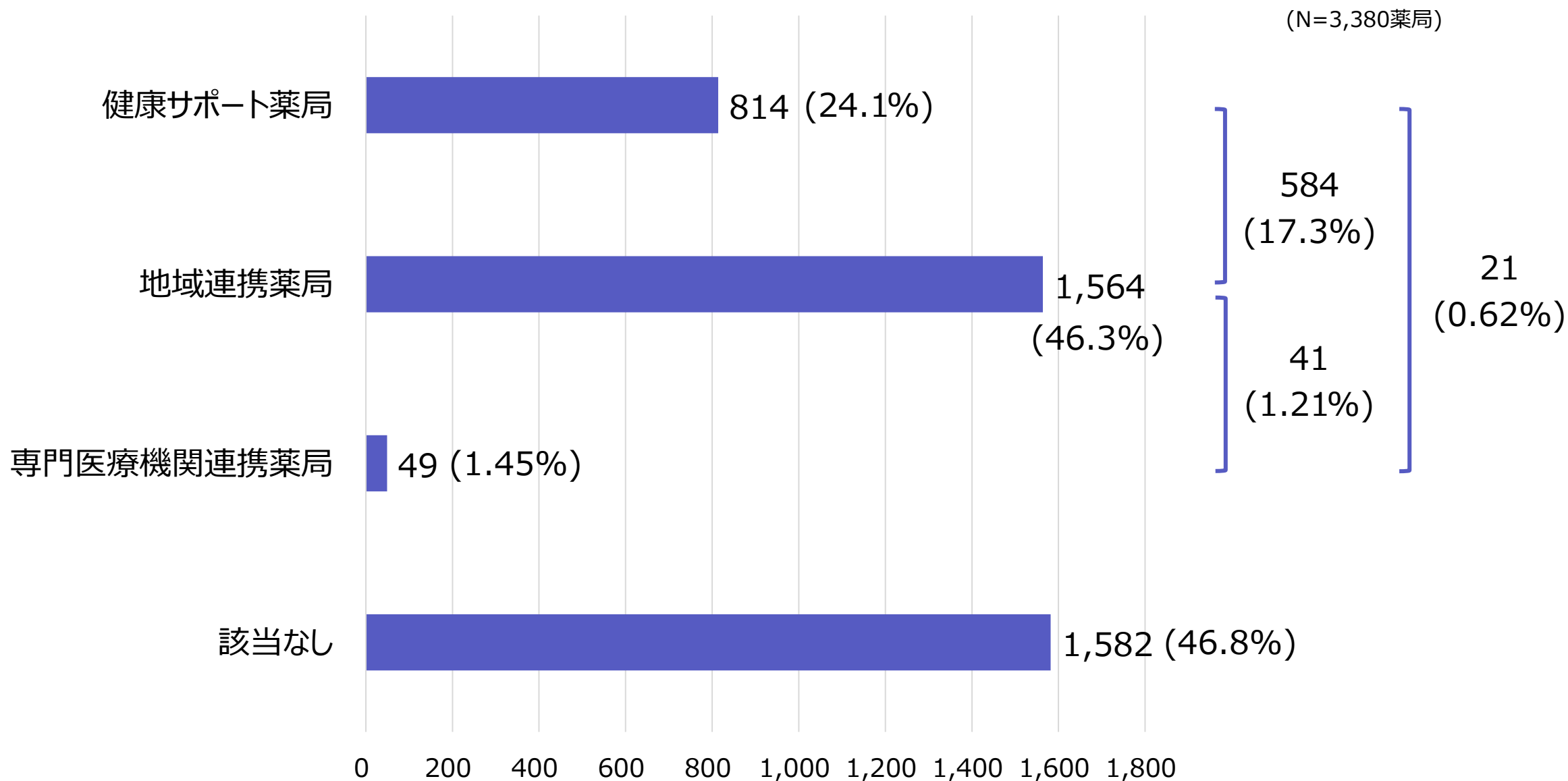


■ ある ■ ない

所属グループの規模

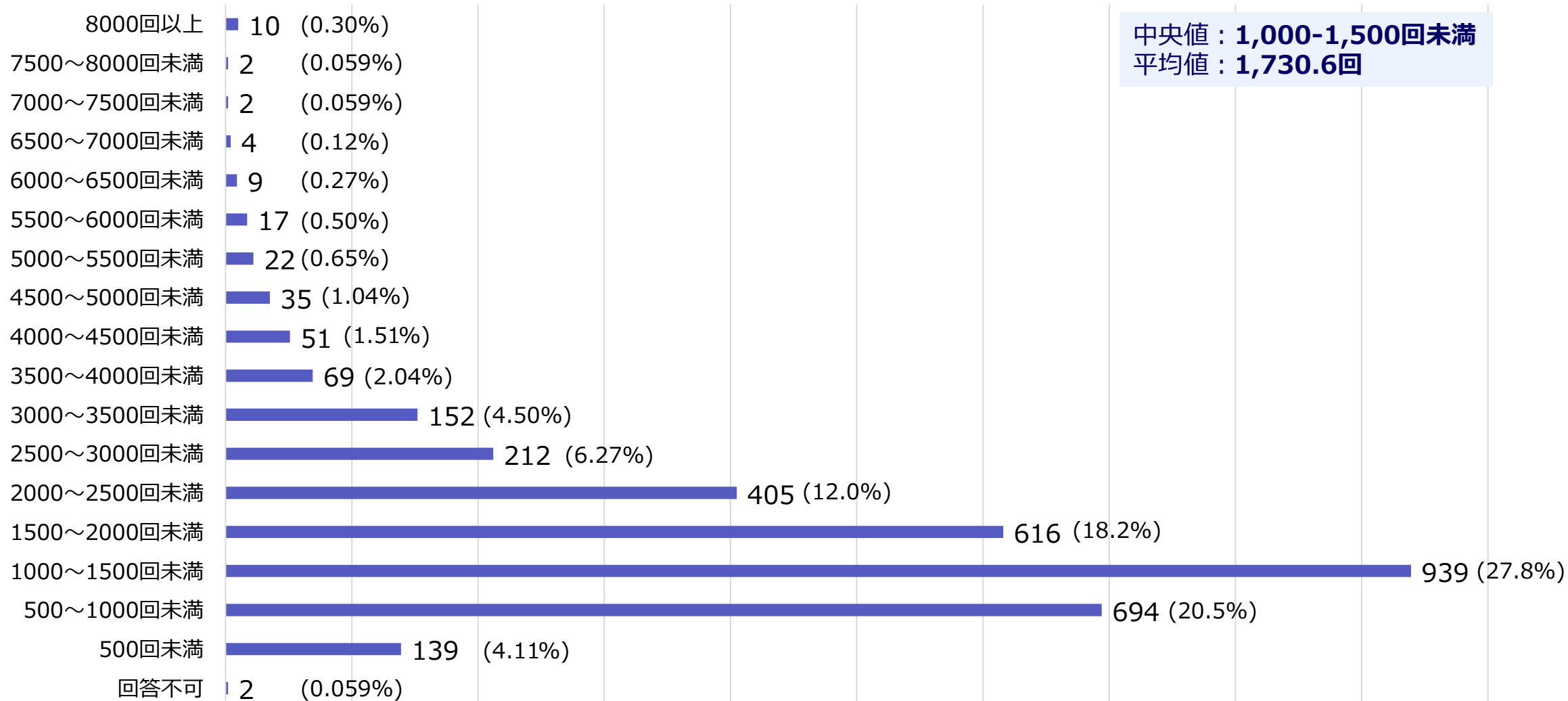


地域連携 / 専門医療機関連携 / 健康サポート薬局



処方せん受付回数（25/7月実績）

(N=3,380薬局)



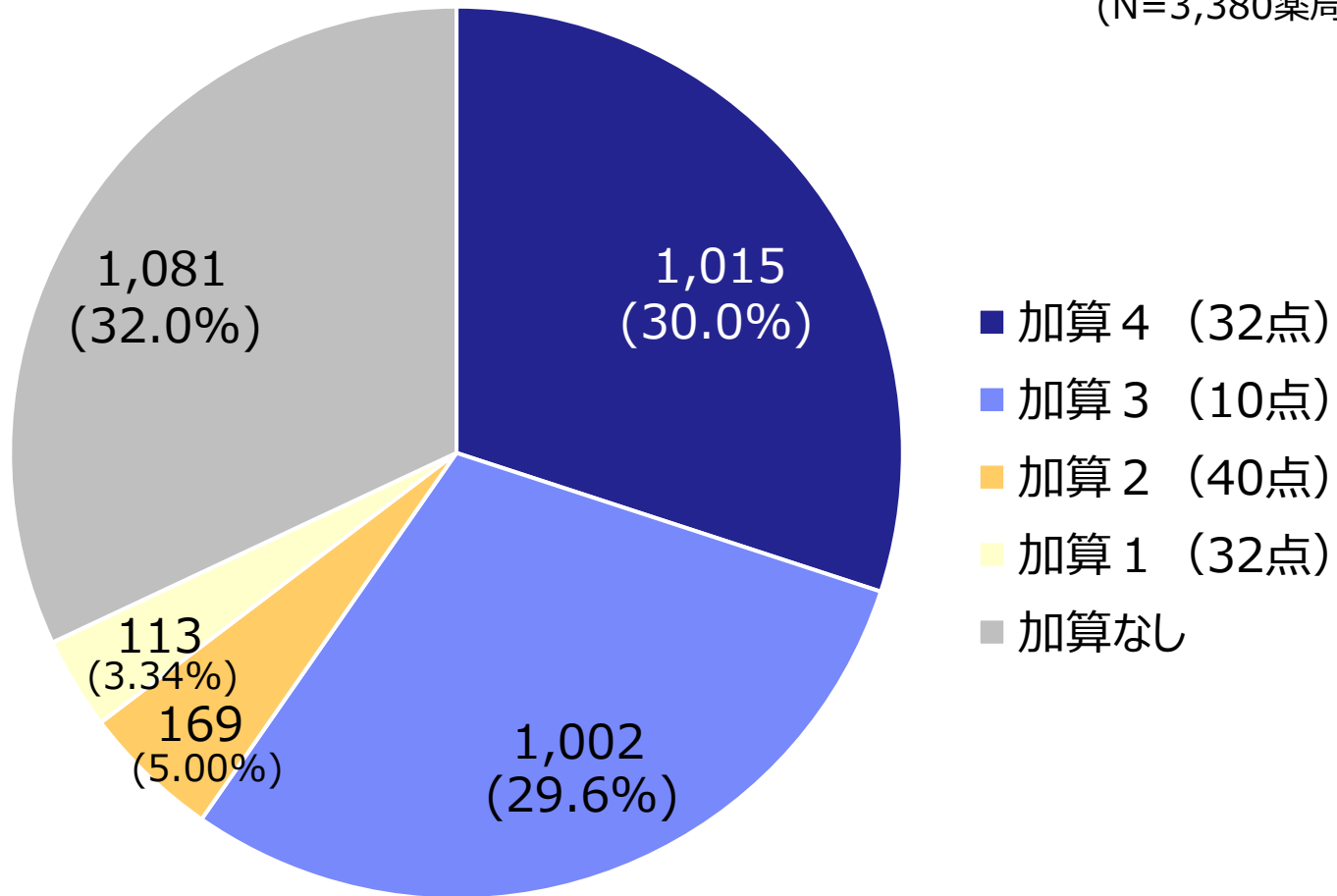
中央値：1,000-1,500回未満
平均値：1,730.6回

地域支援体制加算

問. 地域支援体制加算について、回答時点に算定しているものを選択してください。

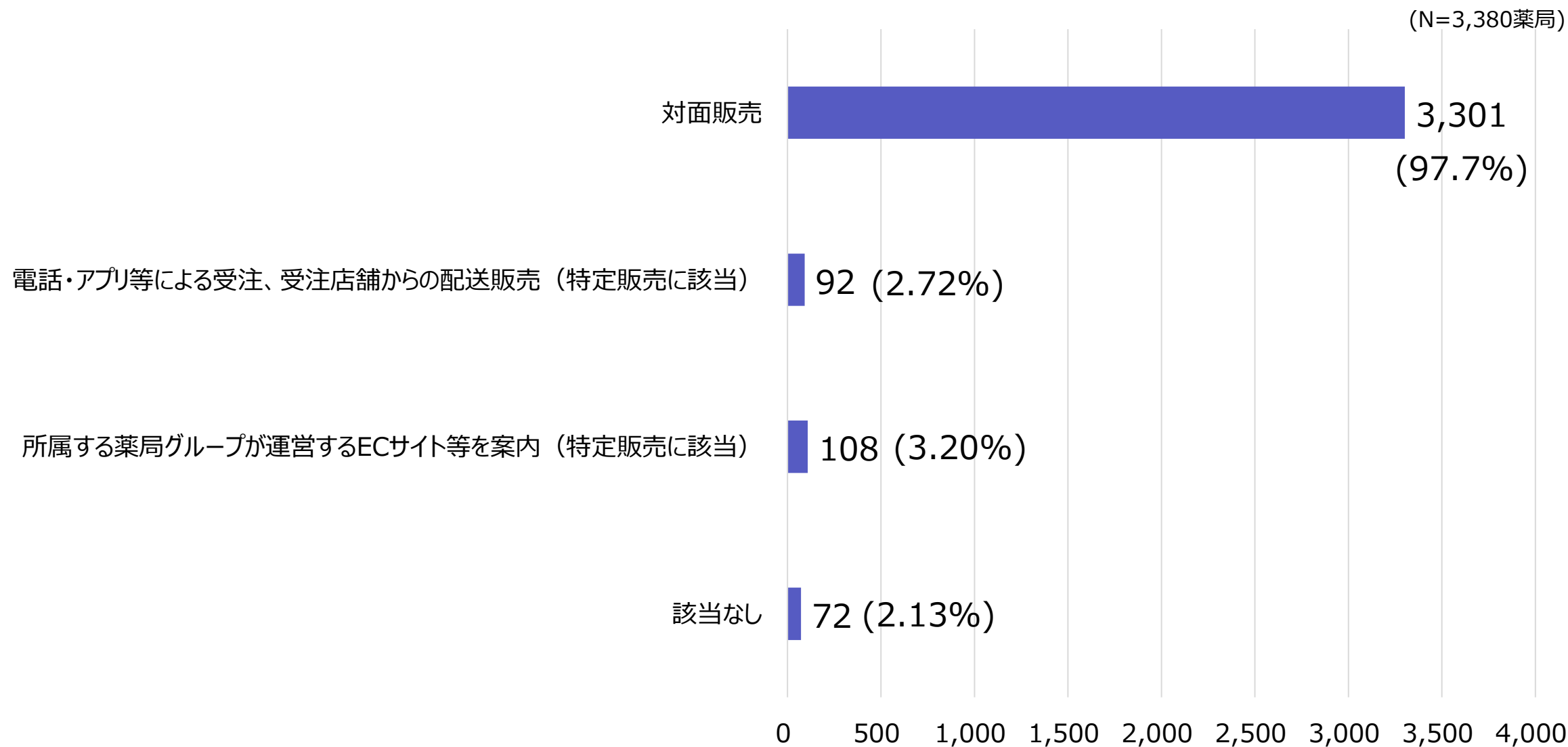
※特別調剤基本料Aの場合は加算点数×0.1となりますが、届出している加算を回答ください。

(N=3,380薬局)



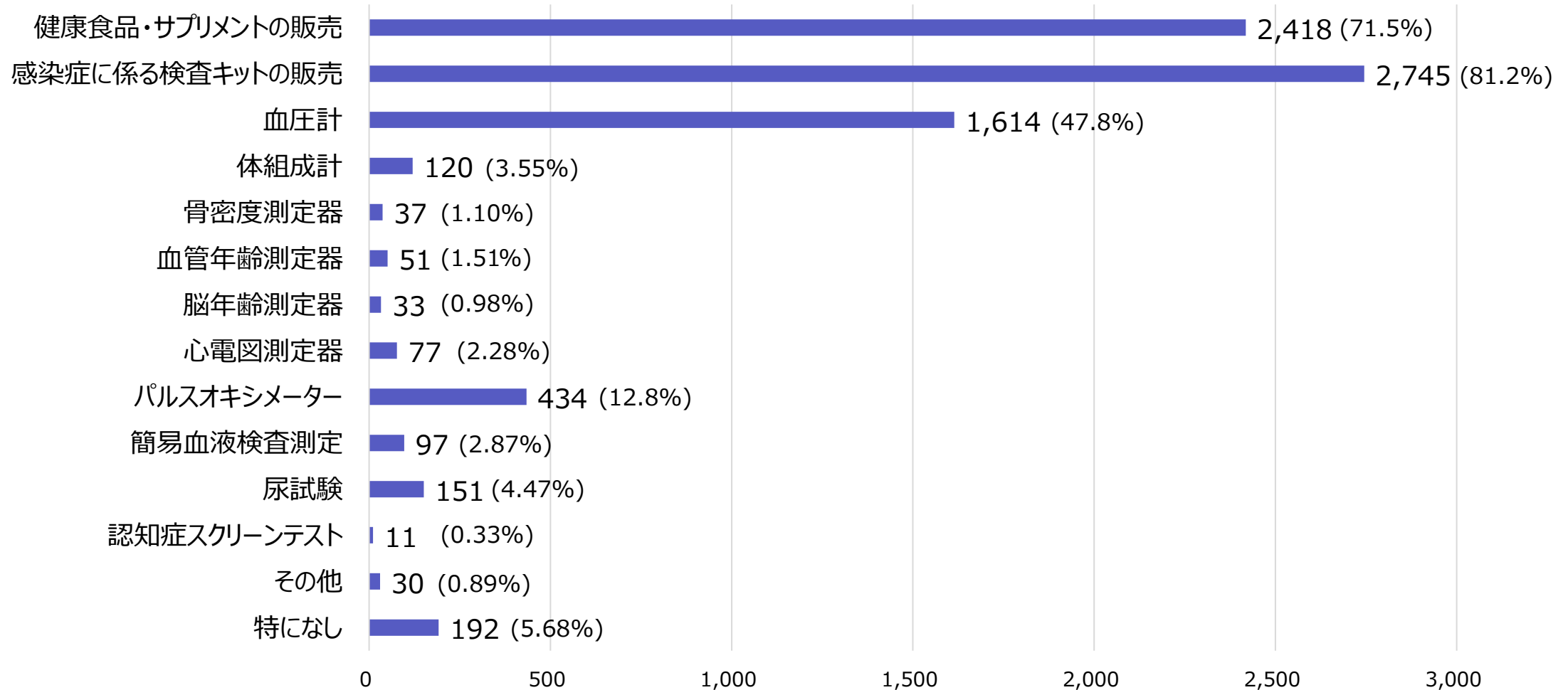
一般用医薬品販売体制

問. 一般用医薬品販売体制について、当てはまるものをすべて選択してください。（複数回答可）



一般用医薬品販売以外のセルフメディケーション支援に係る体制

問. 一般用医薬品販売以外のセルフメディケーション支援に係る体制として、常時設置、もしくは導入しているサービスとして当てはまるものをすべて選択してください。（複数回答可）
(N=3,380薬局)

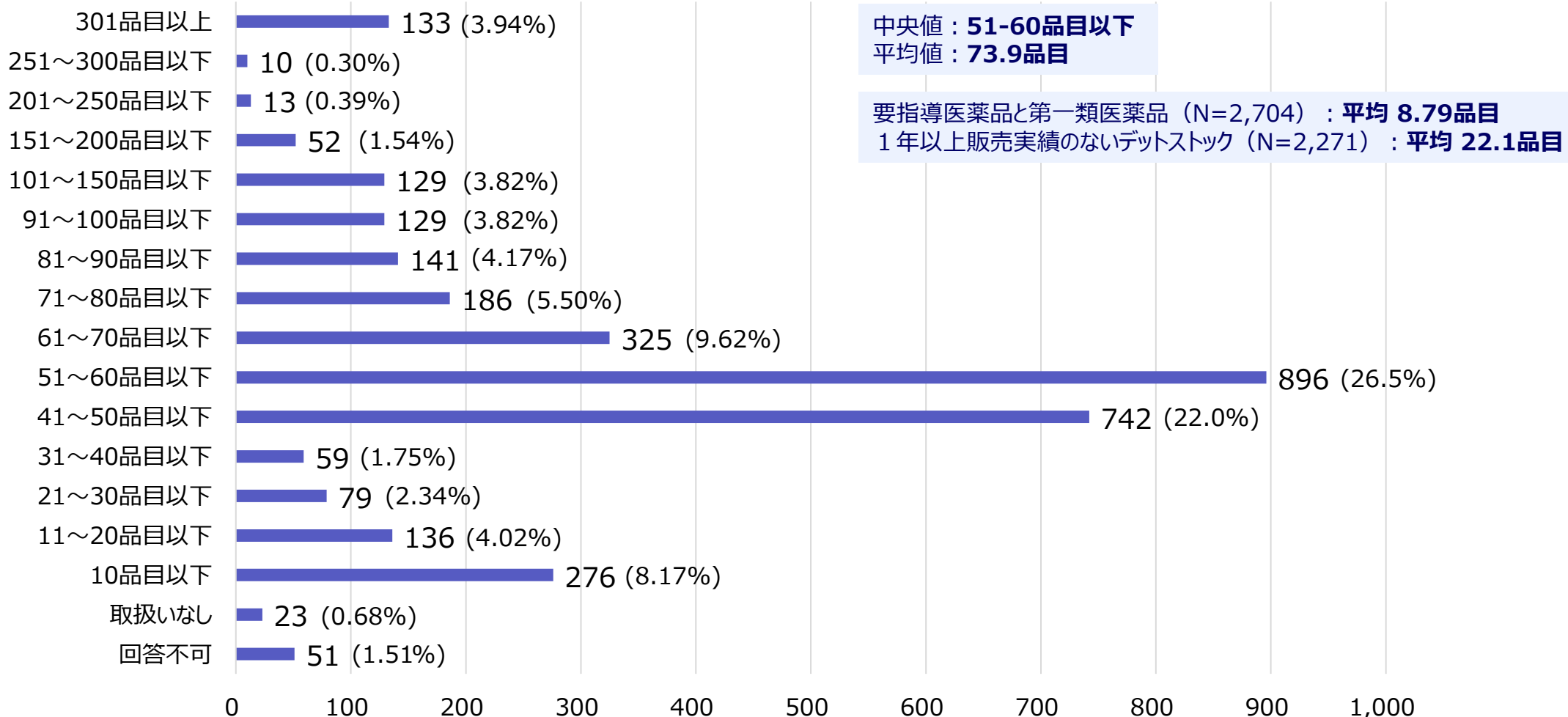


一般用医薬品及び要指導医薬品の取扱い品目数

3,380薬局の平均取扱い品目数は73.9品目、そのうち要指導医薬品と第一類医薬品は平均8.79品目（N=2,704薬局）、1年以上販売実績のないデットストックになっている品目は平均22.1品目（2,271薬局）であった。

問. 一般用医薬品及び要指導医薬品の取扱い品目数を教えてください。

(N=3,380薬局)



▶ 平均値は、11-20品目以下ならば15品目などとし、回答不可を除き計算。

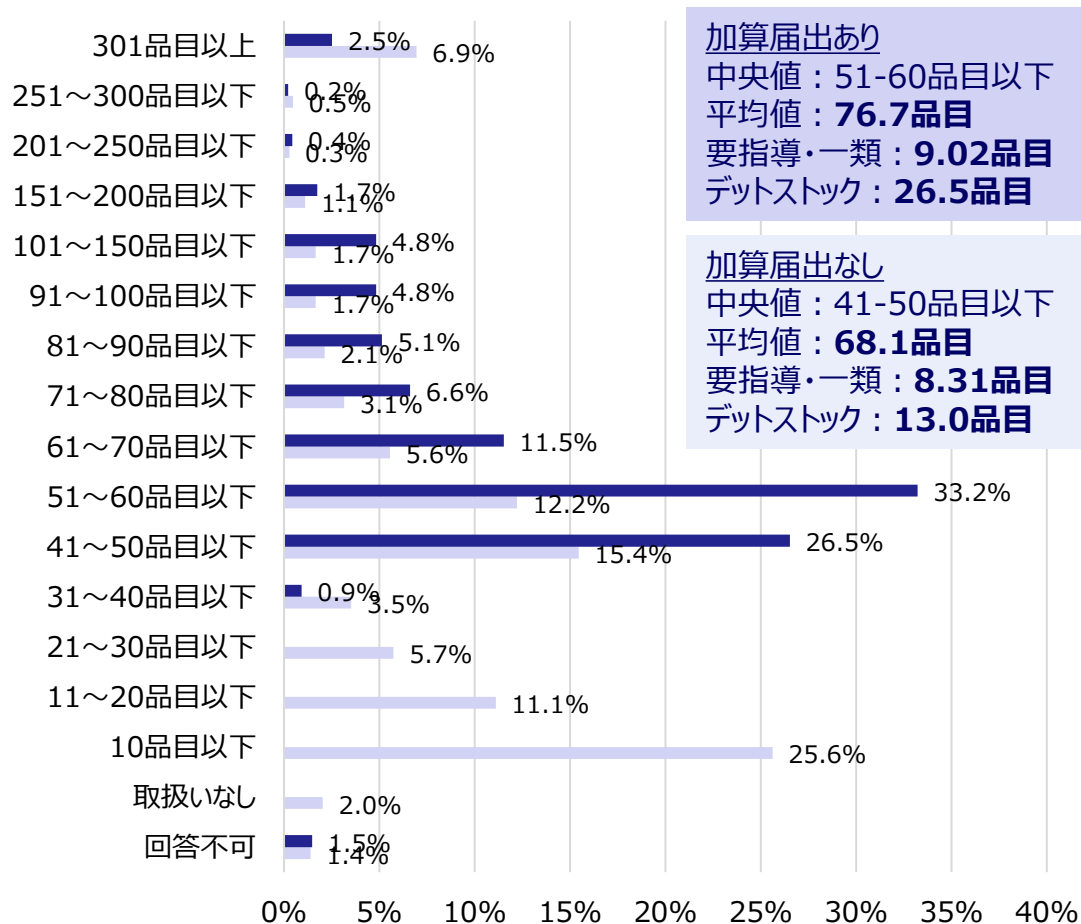
品目数 - 加算届出 / 健サポ届出 -

地域支援体制加算届出、および健康サポート薬局、いずれにおいても、届出ありの方が取扱い品目数は多いが、一方でデットストック品目も多い傾向であった。

問. 一般用医薬品及び要指導医薬品の取扱い品目数を教えてください。

■ 地域支援体制加算届出の有無

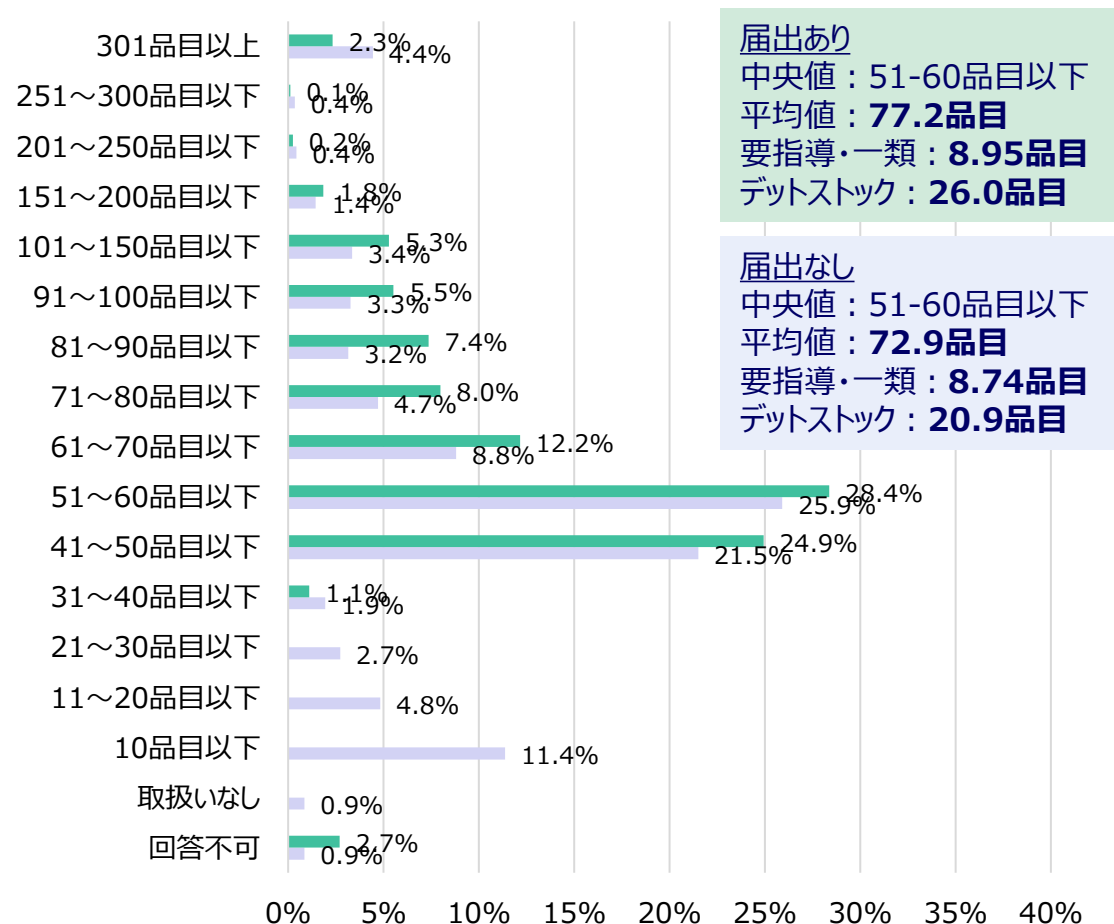
■ 加算届出あり(N=2,299) ■ 加算届出なし(N=1,081)



■ 健康サポート薬局届出の有無

(N=3,380薬局)

■ 届出あり(N=814) ■ 届出なし(N=2,566)



▶ 平均値は、11-20品目以下ならば15品目などとし、回答不可を除き計算。

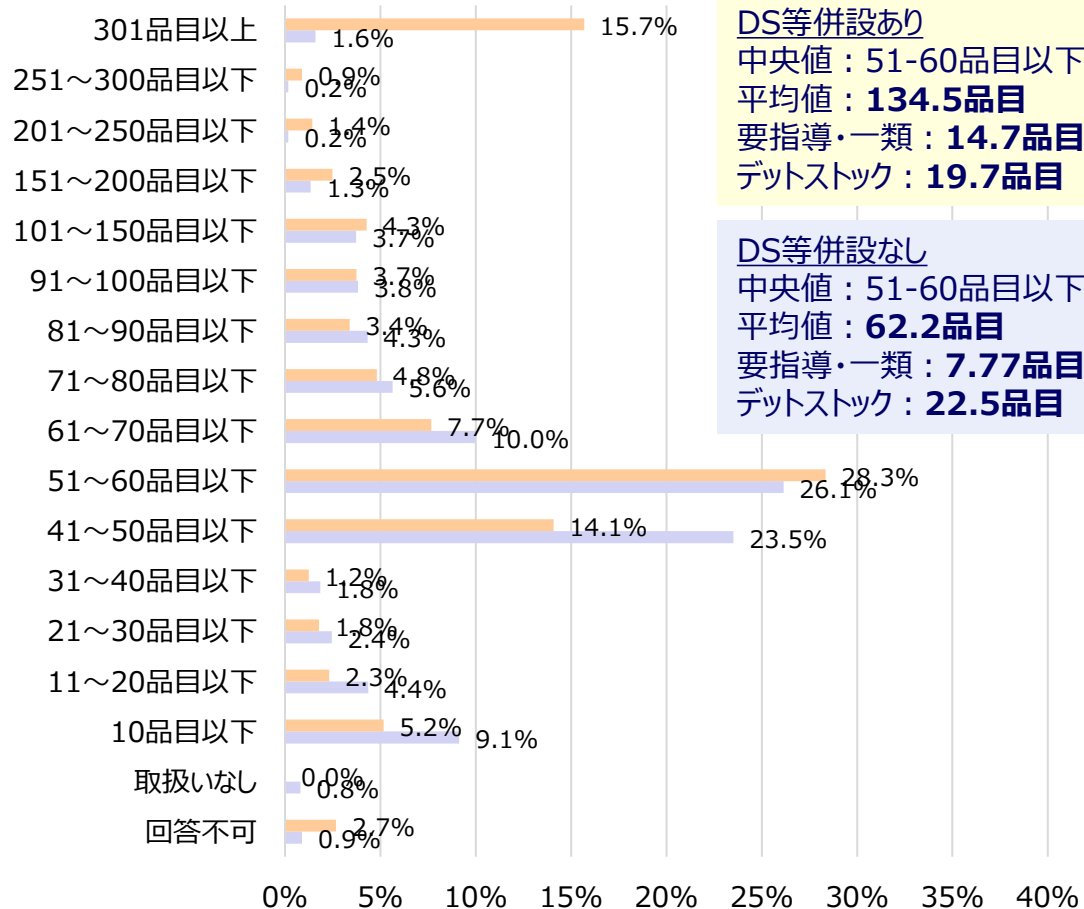
品目数 - DS等併設 / 近隣にDS等の有無 -

DS等併設有無において、併設ありの方が、品目数は多かったものの、デットストック品目数はそれほど大きな差はなかった。また、近隣にDS等店舗の有無においては、取扱い品目数、デットストック品目数ともに大きな差はなかった。

問. 一般用医薬品及び要指導医薬品の取扱い品目数を教えてください。

■ DS等併設の有無

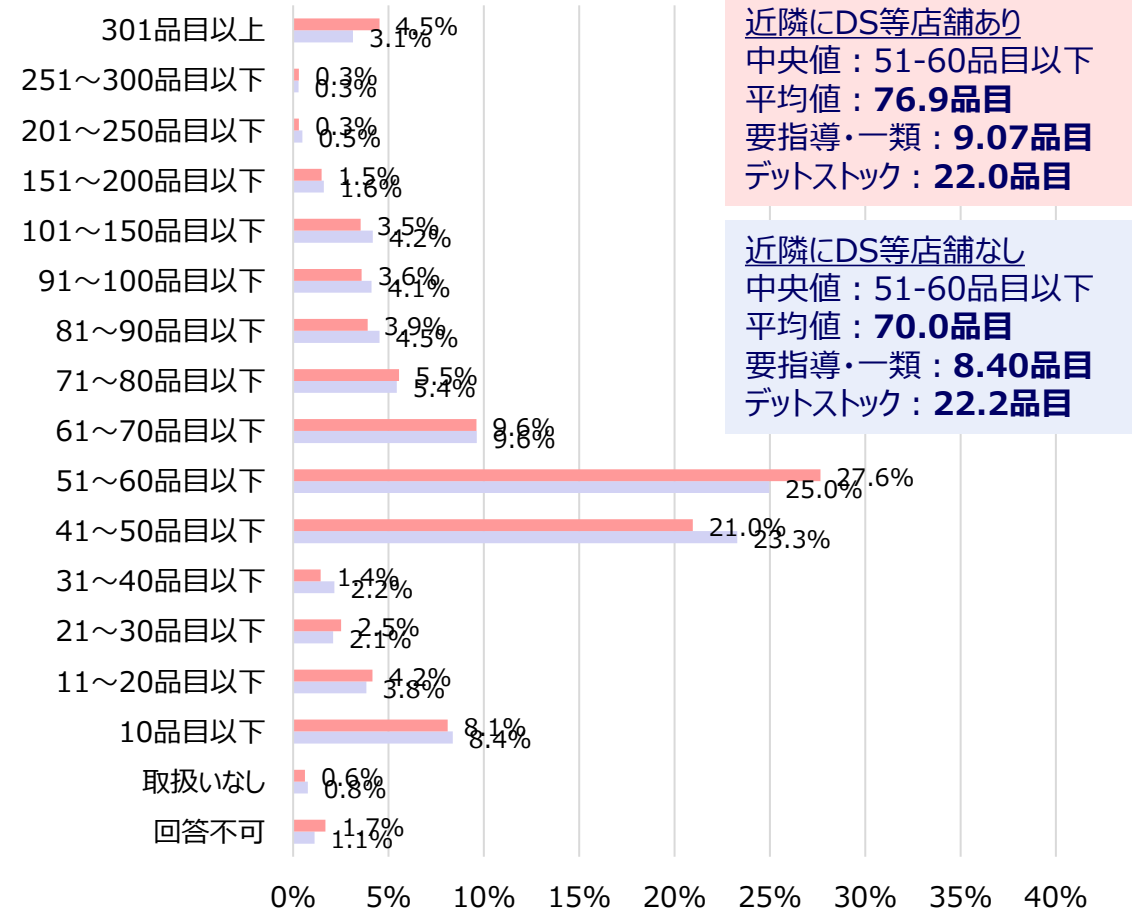
■ DS等併設あり(N=561) ■ DS等併設なし(N=2,819)



■ 近隣にDS等店舗の有無

(N=3,380薬局)

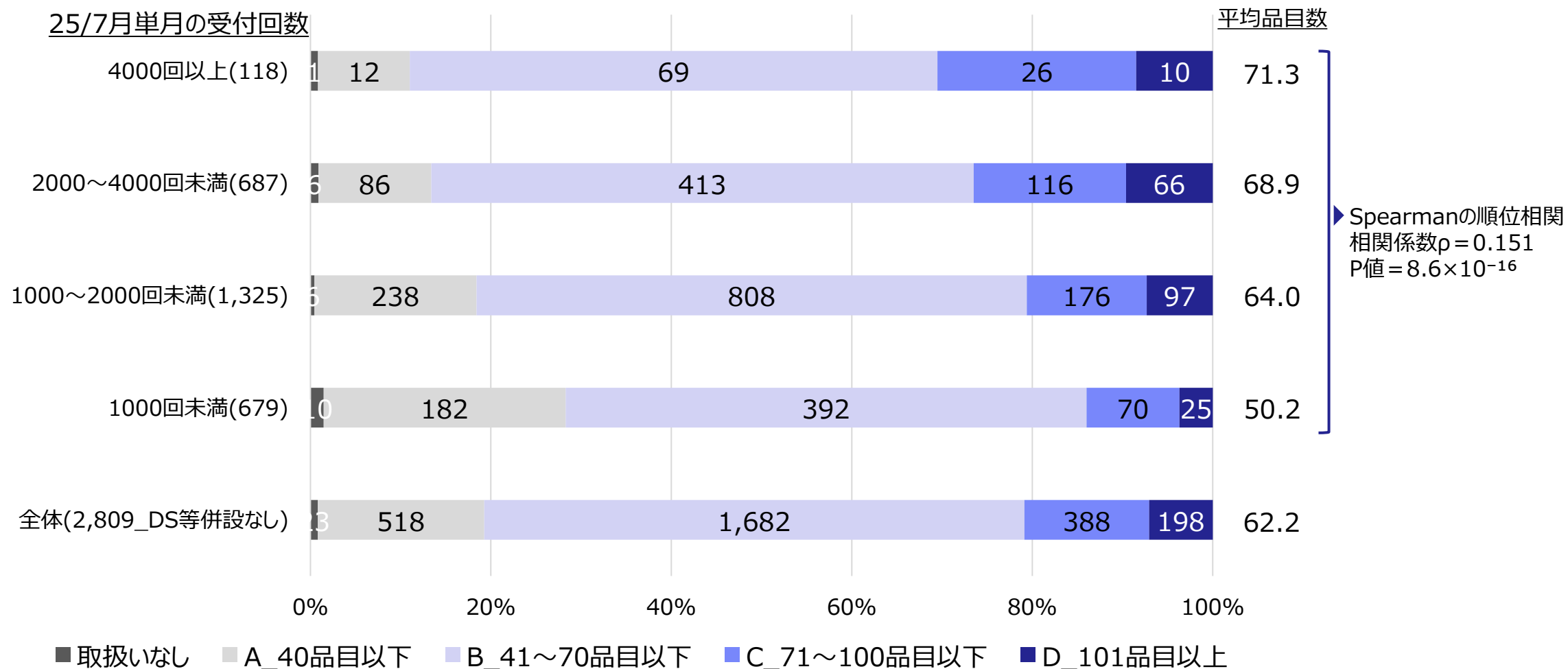
■ 近隣にDS等店舗あり(N=1,946) ■ 近隣にDS等店舗なし(N=1,434)



▶ 平均値は、11-20品目以下ならば15品目などとし、回答不可を除き計算。

品目数×受付回数（DS等併設なし）

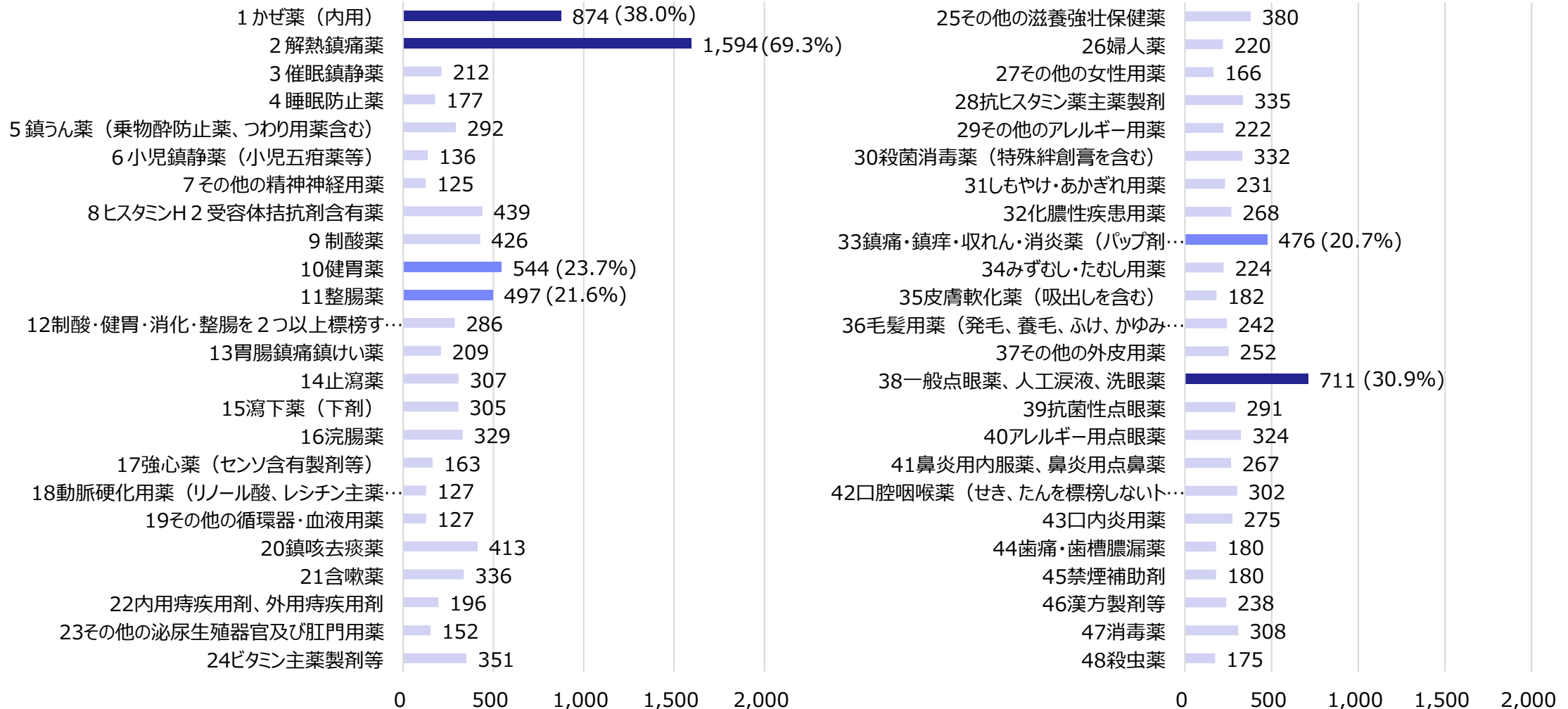
DS等併設なしの категорияにおいて、受付回数が多いほど、取扱い品目数が多い傾向であった。Spearmanの順位相関において有意な差が確認できた一方で、相関の強さは弱かった。



25/7月に販売実績があるカテゴリー –地域支援体制加算の届出がある薬局–

地域支援体制加算を届出している薬局2,299薬局において、25/7月単月に販売実績があるカテゴリーの回答を求めたところ、「実績がある」と回答された割合が30%以上だったのは、3カテゴリーのみであった。

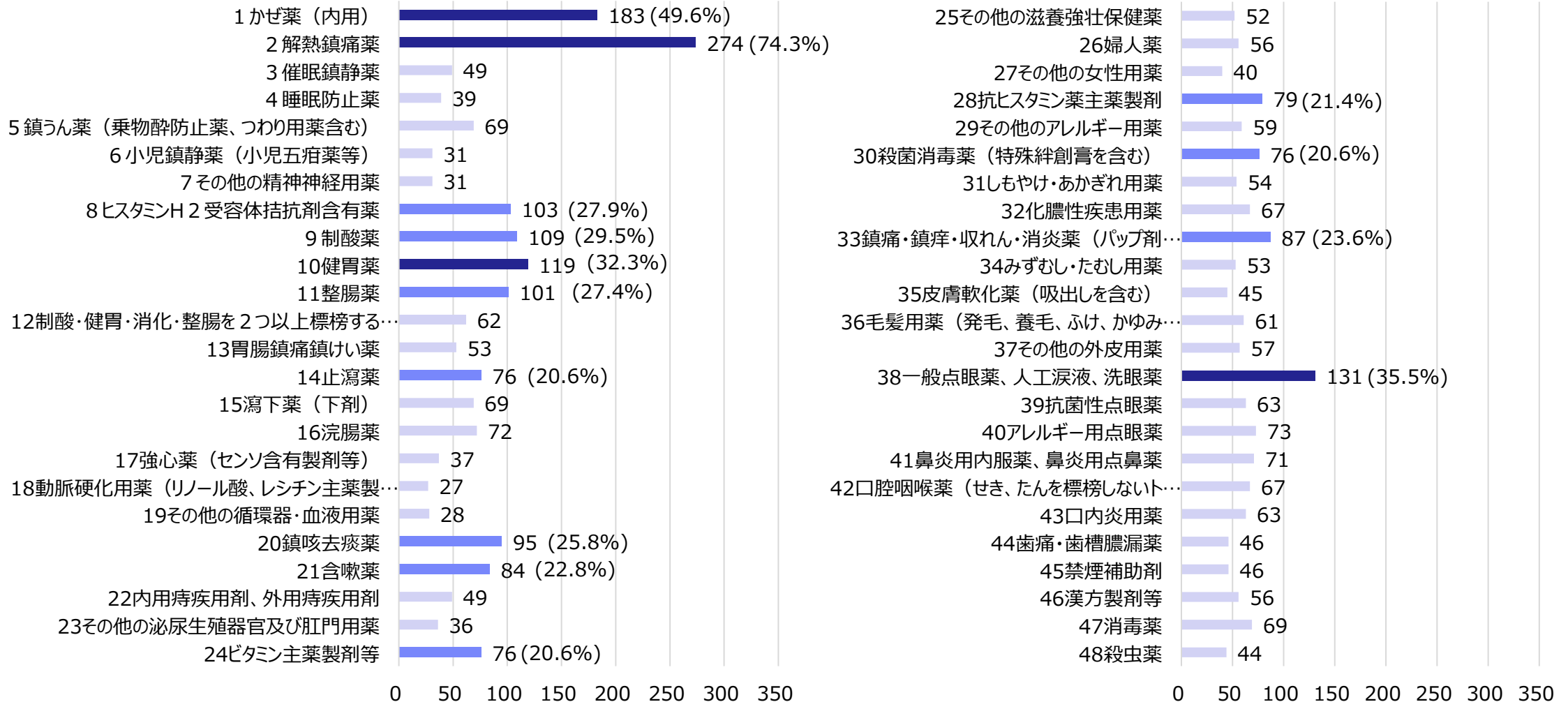
問. 地域支援体制加算届出薬局にお伺いします。同加算届出薬局や健康サポート薬局に供給することが求められる「基本的な48薬効群」について、2025年7月単月において販売実績があるカテゴリーをすべて選択ください。
(N=地域支援体制加算の届出がある2,299薬局)



25/7月に販売実績があるカテゴリー –地域支援体制加算×DS等併設–

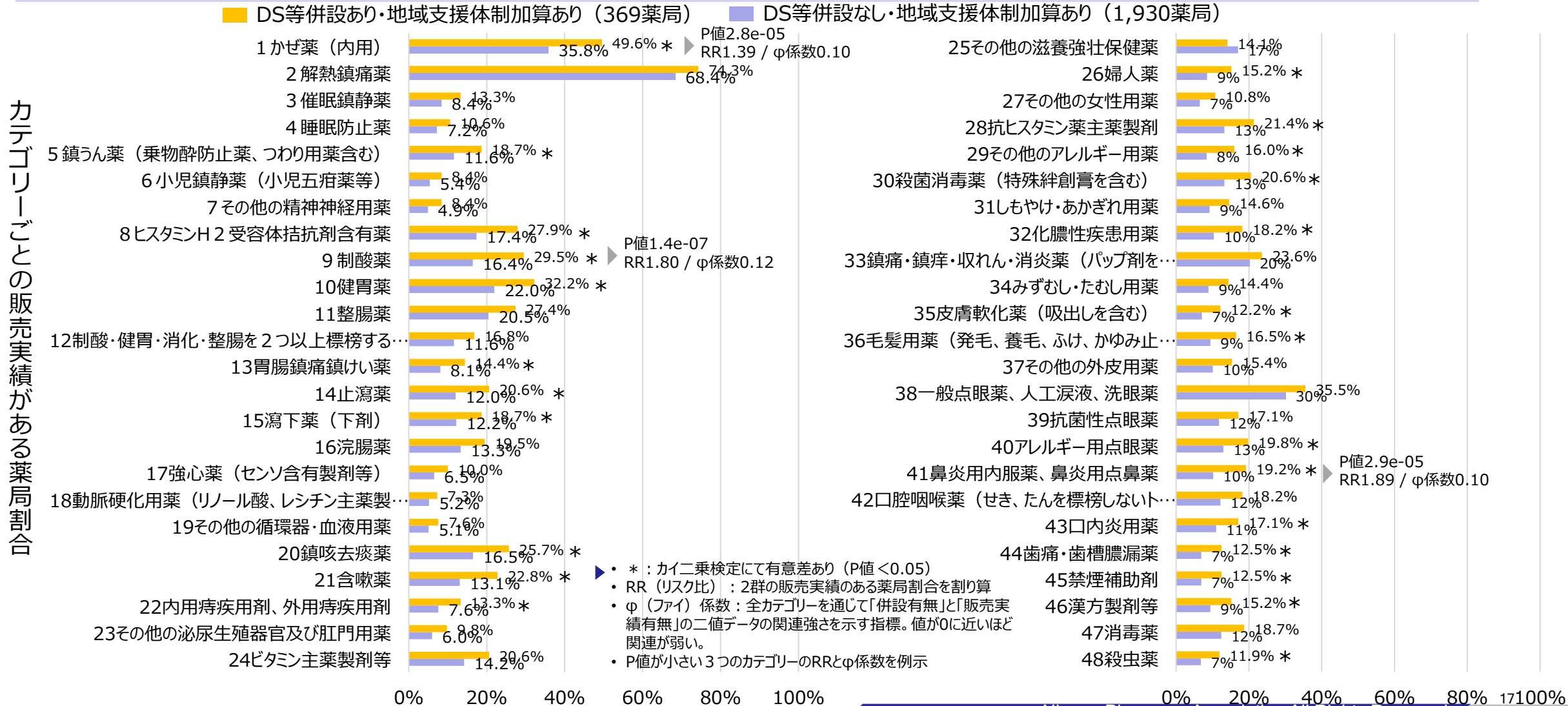
地域支援体制加算を届出している薬局のうち、DS等併設がある369薬局において、25/7月単月に販売実績があるカテゴリーの回答を求めたところ、「実績がある」と回答された割合が30%以上だったのは、4カテゴリーのみであった。

問. 地域支援体制加算届出薬局にお伺いします。同加算届出薬局や健康サポート薬局に供給することが求められる「基本的な48薬効群」について、2025年7月単月において販売実績があるカテゴリーをすべて選択ください。
(N=地域支援体制加算届出×DS等併設がある369薬局)



25/7月に販売実績がある薬局割合 × DS等併設の有無

カイ二乗検定（Bonferroni補正）では25のカテゴリーで有意差（Bonferroni補正後P値=1.4e-07～0.0046）が見られた。これらのカテゴリーにおいて、DS等併設薬局の販売率は約1.4～1.9倍高かった（リスク比RR=1.39～1.89）。一方で、φ係数は最大0.12程度と小さく、全体として併設の有無が販売傾向に与える影響は限定的であった。

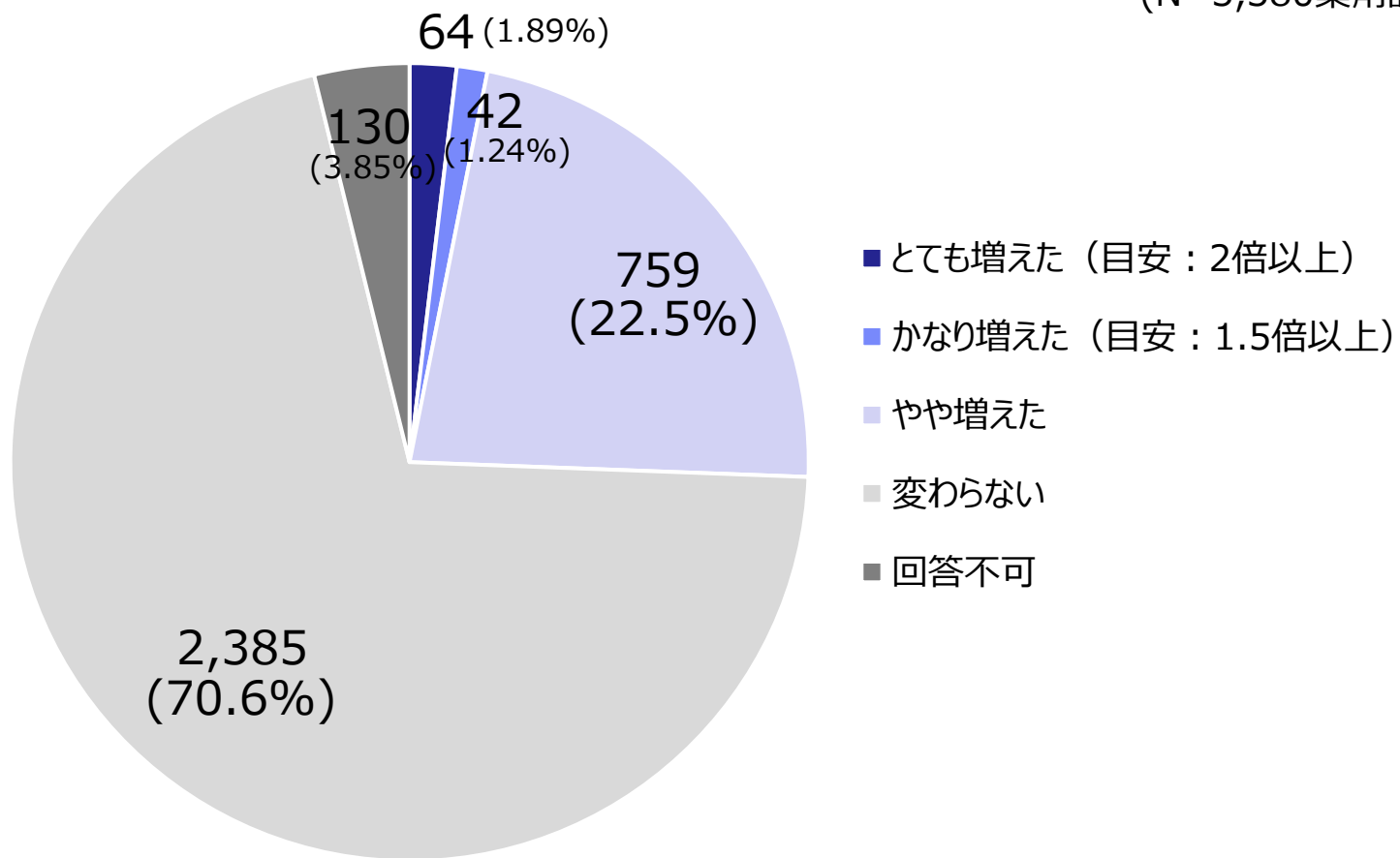


販売件数の動向

販売件数の動向について、25.6%の回答者（薬剤師）が一年前と比べて、「増えた」と実感されていた。

問. 薬局の地域における健康増進支援の役割が一層重視されてきていますが、およそ一年前と比べて、販売件数は増えましたか？ もっとも当てはまるものを選択ください。

(N=3,380薬剤師)





Nippon Pharmacy Association

日本保険薬局協会